

# 令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生産振興課  
 担当名: 花き・果樹・特産・水産担当  
 内線: 4146 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P32	狭山茶DX推進研究事業			一般会計	農林水産業費	蚕糸特産及び	蚕糸特産研究費	茶業研究所費	
事業期間	令和4年度～ 令和8年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	12 儲かる農林業の推進 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 9	SDGsターゲット 9-4
1 事業概要 茶園の集積により経営の大規模化が進む一方、茶園の多くは散在しており、生育や病害虫の発生状況の確認が、茶業者の大きな負担となっている。 また、ICT技術が飛躍的に進む一方で、茶生産への導入は進んでいない。 このため、生育管理データ等の収集や解析にICTを活用し、新たな茶生産の実現に向けた試験研究を実施する。 ア 推進事業 執行節減による事務経費の減 △16千円 イ 狭山茶産地におけるICT活用実証試験 執行節減による事務経費の減 △856千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 推進事業 149千円 狭山茶DX推進会議において、茶業者等と意見交換や技術の効果検証を行う。 イ 狭山茶産地におけるICT活用実証試験 6,395千円 ICTを活用した茶生産の実現に向け、試験研究を実施する。 (2) 事業計画 ア 推進事業 ICT活用環境整備 環境センサの設置推進、推進会議の実施 イ 狭山茶産地におけるICT活用実証試験 収穫作業の効率化 葉濡れセンサのデータ評価による摘採可否の判定 凍霜害回避 実証計画策定 害虫発生予察 画像データの解析精度、環境データ活用実証計画策定 防霜ファンの遠隔操作 活用実証結果の評価(1事例) (3) 事業効果 ICT活用環境整備 環境センサの設置15か所、推進会議の実施3回 収穫作業の効率化 葉濡れセンサのデータ評価による摘採可否の判定1モデル 凍霜害回避 実証計画策定1計画 害虫発生予察 画像データの解析精度90.5%、環境データ活用実証計画策定1計画 防霜ファンの遠隔操作 活用実証結果の評価1事例 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 茶業者団体、メーカー、産地市町等と連携を進める。 (5) 補正予算の概要 ア 執行節減による事務経費の減額 イ 執行節減による事務経費の減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人=38,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△872							△872	5,672
現計額	6,544							6,544	

## 事業内訳書

事業名	狭山茶DX推進研究事業		
単位事業名	推進事業	予算額	△ 16千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△16	—	
合計	△16	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△16	—	執行節減による普通旅費の減
合計	△16	—	

単位事業名	狭山茶産地におけるICT活用実証試験	予算額	△ 856千円
-------	--------------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△856	—	
合計	△856	—	

単位事業名	狭山茶産地におけるICT活用実証試験	予算額	△ 856千円
-------	--------------------	-----	---------

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△820	—	執行節減による消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料の減
役務費	△36	—	執行節減による通信運搬費の減
合計	△856	—	